

Marubeni

丸紅株式会社

“会社全体としてセキュアな IT 基盤を確立することで、最適な IT 投資やリソースの再配置を可能にし、より攻めの領域に経営資源を割り当てることができます。一方、現場の担当者は、空港やホテル、自宅などの場所にとらわれない働き方ができるようになり、ワークスタイルの変化を実感しています”

情報企画部 ITサービス推進課長 橘高 弘一郎 氏

導入の背景

- 国内外の出張先や自宅からセキュアにアクセスできる仕組みの実現
- BYOD も視野に入れた利便性の向上
- ブラウザメールのセキュリティをいかに担保するか

ソリューション

- XenApp と NetScaler による、セキュアなアプリケーション仮想化環境の構築

ベネフィット

- セキュアなブラウザメール環境の実現
- ファイルサーバーへのアクセスにより、利用者満足度を向上
- 空港やホテル、自宅などの場所にとらわれないワークスタイルの実現
- IT 投資の最適化やリソースの再配置で攻めの領域に投資

導入アプリケーション

- Outlook Web App (OWA)
- 社内ポータル
- ファイルサーバー

Citrix 製品

- Citrix XenApp
- Citrix NetScaler

4,000人の従業員が、国内外の出張先や自宅のPCから会社環境にアクセスできる、セキュリティと利便性を両立したアプリケーション仮想化基盤を構築 今後、スマートフォンやタブレット端末でのBYODも推進

総合商社である丸紅は、国内外のネットワークを生かし、食料、繊維、資材、紙パルプ、化学品などの輸出入および国内取引から、電力、インフラ、プラント、産業機械、開発建設、金融、物流、情報など、広範な分野の商品や各種サービスの提供、事業投資、開発・運営までを、世界 65 カ国・120 地域の拠点で展開しています。「強い丸紅」の実現を目的とした中期経営計画「SG-12」を完遂し、新たな中期経営計画である「Global Challenge 2015」を推進。より一層の「強い丸紅」の実現に向け、IT インフラの整備を進めています。その一環として、いつでも、どこでも、どの端末からでも業務ができるリモート業務環境の整備にも積極的に取り組んでいます。

導入の背景：外出先や自宅、海外出張先からセキュアにメールを利用できる仕組みの実現

丸紅は 2000 年以前、大型テレックス網を利用して世界各国の拠点との通信を行っていました。2000 年代に入りインターネットが普及拡大したことから、通信手段を電子メール網に切り替えました。このテレックスから電子メールへの切り替えにあたり、メールサーバーとして Microsoft Exchange Server を各国拠点に展開しました。情報企画部 IT サービス推進課長の橘高 弘一郎氏は、「2000 年から、メールサーバーとして Exchange Server を採用してきました。その後、サーバーのメンテナンス作業や、ハードウェア更新作業からの解放を目的として、現在では Office 365 Exchange Online を利用しています。また、Exchange Server を導入した当時から、出張先や自宅からメールシステムにブラウザでアクセスできる、Outlook Web App (OWA) を利用していました」と話します。さらに 2000 年代半ばごろから、セキュリティ対策が重視されるようになりました。丸紅では、まだ世の中に「IT セキュリティ」という言葉が浸透する以前から、「IT セキュリティ標準」と名付けたセキュリティ対策の社内・グループでの標準化に取り組んでいました。セキュリティ対策について橘高氏は、次のように語ります。「外出先や自宅の PC で業務データを編集しメールを送信した際に、デスクトップにデータが残ってしまうので、情報漏えいにつながる恐れがありました。しかしセキュリティ対策のために OWA を使えなくしてしまうと、業務効率が低下してしまいます。そこで、いかに OWA を利用する環境のセキュリティを担保するかが重要でした」。橘高氏は、「情報を会社が完全に管理でき、一方で利用者の利便性を失わないソリューションとはどのようなものかの検討を開始しました。このとき、将来的には、個人所有のスマートフォンやタブレット端末からメールを利用する BYOD の実現を考慮しておくことも必要でした」と話します。検討の結果、Citrix® XenApp® によるアプリケーション仮想化環境の導入を決定、構築は、新日鉄住金ソリューションズ (NSSOL) に依頼することとしました。

ソリューション：XenApp と NetScaler による、アプリケーション仮想化環境の構築

「セキュアOWA」と命名された、XenAppを基盤としたアプリケーション仮想化環境の構築は、2013年4月より検討が開始され、5月末にSIベンダーとしてNSSOLを選定。6月初めに「セキュアOWA」の構築プロジェクトをキックオフしています。製品として、XenApp、Citrix NetScaler®を、構築ベンダーとして、NSSOLを採用した理由を情報企画部 ITサービス推進課の田辺 幸輔氏は、次のように語ります。「アプリケーション仮想化分野ですでに数多くの実績があることが、XenAppとNetScalerの組み合わせを採用した最大の理由です。他社製品とも比較しましたが、XenAppは利用できる端末の種類が多く、よりきめ細かいセキュリティ設定ができることを評価しました。システム構築に関しては、XenAppやNetScalerはもちろん、Windows Serverなど、各分野のスペシャリストがそろっていることや品質保証に対する姿勢を評価して、NSSOLに依頼しました」。橘高氏は、「キックオフ後にサーバーを導入して、2カ月強でXenAppを基盤とした「セキュアOWA」環境を構築し、8月後半には本番稼働しています。XenAppの導入は非常に順調で、まったく問題はありませんでした」と当時を振り返ります。



情報企画部 IT サービス推進課長
橋高 弘一郎 氏



情報企画部 IT サービス推進課
田辺 幸輔 氏

2カ月という短期間で XenApp を導入できた理由を、田辺氏は、「NSSOL の各メンバーが、ミーティングで問題の細部まで粘り強く洗い出し、解決策を決定したことで、手戻りの少ない短期間でのシステム構築につながりました」と話します。XenApp を基盤とした「セキュア OWA」は、現在、国内の従業員 4,000 名以上が、海外を含む外出先の PC や自宅の PC から、社内メール、イントラネット、ファイルサーバーにセキュアにアクセスするために利用されています。また、PC への Citrix Receiver™ のダウンロードは、社員自身で行っています。さらに、NetScaler の ICA プロキシ機能によって ICA プロトコルの SSL 暗号化を行い、安全なモバイル環境を実現しています。

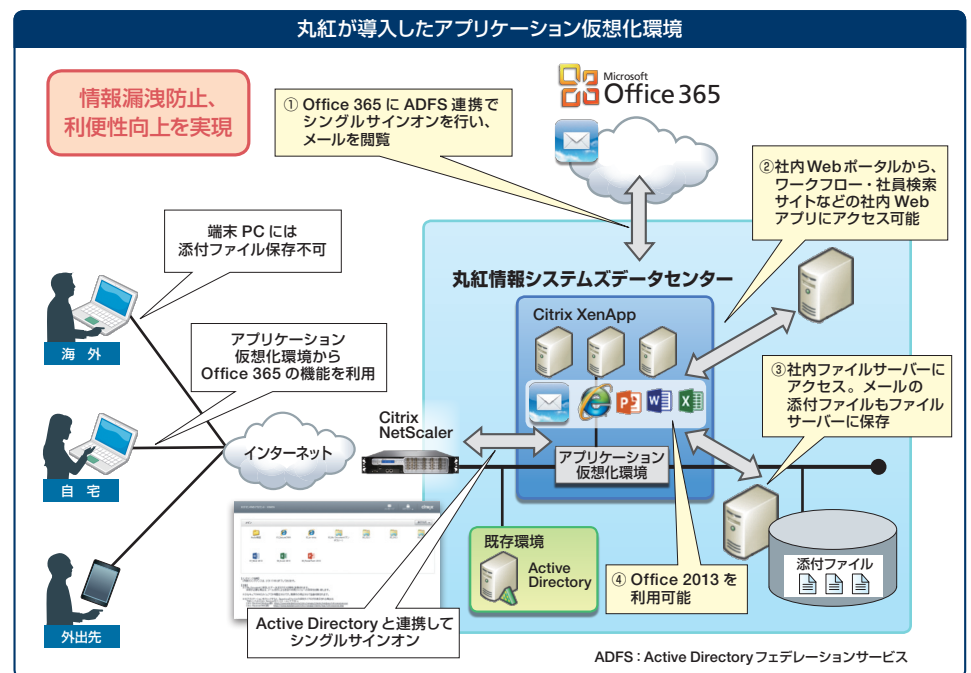
導入効果：「セキュア OWA」の実現で現場の担当者もワークスタイルの変化を実感

「セキュア OWA」実現による利用者のメリットを、田辺氏は、「XenApp を導入したことで、外出先や自宅の PC から安全に会社データにアクセスできる基盤を実現でき、利用者に大きなメリットを感じてもらえました。また、ファイルサーバーにデータを保存しておけば、いつでも、どこからでもデータにアクセスできるようになったので、PC のローカルディスク内にデータを保存してしまう習慣が減り、ファイルサーバー上にデータを集約できる副次的メリットも出てきています」と話します。活用例として、営業部門の担当者は、現在は安全に接続する環境があることで、安心して業務ができるようになりました。橋高氏は、「営業部門の社員は、海外と日本をつなぐ仕事で出張が多いのですが、特にホテルで作業するときレスポンスが悪いとか、個人のローカルディスク上に保存したファイルを編集することで、東京の本社で管理しているファイルと、内容に差異が出てしまうなどの問題がありました。現在は、空港やホテル、自宅などの場所にとらわれず、安心してスムーズに仕事ができ、自分の時間も多くとれるようになったと、ワークスタイルの変化を実感してもらっています」と話しています。

今後のプラン：海外・グループ会社を含む 7,000 人規模のアクセスを見込む。

会計システムをはじめとする業務アプリケーションなどの利用可能なアプリケーションの拡大や、スマートフォンやタブレット端末での BYOD も推進

「セキュア OWA」環境を構築した効果を橋高氏は、次のように語ります。「各現場の担当者が、それぞれにセキュアな IT 活用を考えるのは効率的とはいえません。会社全体としてセキュアな IT 基盤を確立することで、最適な IT 投資やリソースの再配置が可能になり、より攻めの領域に経営資源を割り当てることができます。こうした取り組みが、“強い丸紅”の実現を加速させると考えています」。丸紅では、今後、海外・グループ会社を含む 7,000 人規模のアクセスを想定しています。また、今後は、会計システムをはじめとする業務アプリケーションなどの利用可能なアプリケーションの拡大や、スマートフォンやタブレット端末を利用した BYOD を推進する計画です。橋高氏は、「社外から業務アプリケーションへのアクセスも可能にすることで、担当者は自宅の PC でも業務アプリケーションを使った作業ができます。これにより BCP（事業継続性計画）への対応も一層期待できます。こうしたことから、より一層のアプリケーション仮想化環境の活用に加え、今後はデスクトップ仮想化の導入も検討していく予定です」と話しています。



Citrix について

Citrix は、新しい快適なワークスタイルを実現する仮想化、ネットワークング、クラウドインフラストラクチャのリーディングカンパニーです。

CITRIX®

シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社
TEL：03-4577-5900（代表）
www.citrix.co.jp

©Copyright 2014 Citrix Systems, Inc. All rights reserved. Citrix®, XenApp®, NetScaler® は、Citrix Systems, Inc. の米国あるいはその他の国における登録商標または商標です。その他の社名、商品名はそれぞれの所有者の商標または登録商標です。

CSJ/MRB/0414/5000